

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
1 【いきる】 2 【かかわる】 3 【そなえる】	③ 【夢や希望の大切さ】 ⑪ 【ボランティア】 ⑭ 【復旧・復興へのあゆみ】 ⑮ 【東日本大震災津波の様子と被害の状況】	総合的な学習の 時間

【題材】

(1) 第1回山田町訪問 (2) 第2回山田町訪問

【対象】

(1) 第3学年 15名 (2) 全校生徒 38名

【実践の概要・詳細】

(1) 第1回山田町訪問 7月1日(月)

- ① 山田町役場で被災状況についての学習
- ② 被災地視察
  - ※バスから、津波の被害の様子と現在の復興の進み具合(かさ上げの様子など)を自分の目で確かめる。
- ③ 被災された方へのインタビュー
  - ※10名(9か所)を訪問する。
  - ※インタビューさせていただいた方へ、3年生が1つずつ作製したハンギングバスケットをプレゼントする。
- ④ 奉仕活動(発掘された土器を洗う作業のお手伝い)



(2) 第2回山田町訪問 10月3日(木)

- ① 山田町役場で被災状況についての学習(1・2年生)
- ② 奉仕活動(3年生による山田町中心部のゴミ拾い)
- ③ 被災地視察(7月と同様に実施)
- ④ 被災された方へのインタビュー
  - ※3年生が前回訪問させていただいた方の所に1・2年生を連れて訪問する。
  - ※11名(10か所)を訪問する。



【具体的な実践について】

(1) 第1回山田町訪問

- 震災当日の山田町の状況や、現在の状況等について学んだ。
- 震災前の山田町の写真と見比べながら、津波による被害の状況や、かさ上げなど復興の進み具合を自分の目で確認した。
- 10名の被災された方々へそれぞれ訪問し、インタビューをすることで、被災された方々の実体験や思いを知った。
- 「花をプレゼントしたい」という生徒たちの考えから、ハンギングバスケットを作成し、インタビューさせていただいた方々へプレゼントした。
- 奉仕活動として、遺跡発掘で出土した土器を洗う作業の手伝いを行った。

(2) 第2回山田町訪問

- 前回3年生がインタビューさせていただいた方々へ、1・2年生を連れて再び訪問すること主な活動とし、第1回目の訪問と同様の取り組みを行った。
- 3年生は奉仕活動として、山田町中心部のゴミ拾いを行った。



【生徒の感想】

- テレビで見るよりも実際に見た町は何もなさすぎて言葉がでなかった。悲しい光景だった。
- 家の土台や線路の一部しか残っていないと、思った以上に大きな被害でびっくりした。
- 訪問して改めて、震災があったことを忘れたくないし、忘れてはいけないと思った。
- 2年経った今でも心に傷はあるけれど、それでも明るく前向きに生きる姿に感動した。
- 時々涙を浮かべながらお話して下さる姿を見て、本当に大変だったんだなと思った。
- 復興がなかなか進まず、あきらめかけている人が多いという話を聞いて、何か私たちにできることはないかなと思った。

【まとめ】

山田町訪問を通し、生徒たちは地震や津波の恐ろしさを実感した。また、このような震災が起こった時にどのように行動すればいいのか、普段から「自分で考え、判断し、行動する力」を鍛えておくことの大切さを学ぶことができた。

被災された方々へのインタビューを通し、前向きに生きる姿に「今を大切に生きる」ことの大切さを学ぶと同時に、復興がなかなか進まず、元気をなくしている方々がいるという現状も知る機会となった。

今後、どのように復興に関わっていくか、自分たちにできるボランティア活動は何かを考えるきっかけとなった。



【山田町の方からいただいたお手紙より～】

- 入 私たちの思いを伝えてくださると書いてあり、とても嬉しかったです。
- 入 あの時お話したことが少しでもお役に立てばと思っています。
- 入 宇部中学校のみなさんが震災のことを勉強して、これからのために役立ててくれればありがたいと思います。

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
1【いきる】 2【そなえる】 3【そなえる】	③【夢や希望の大切さ】 ⑭【復旧・復興へのあゆみ】 ⑮【東日本大震災津波の様子と被害の状況】	総合的な学習の 時間

【題材】

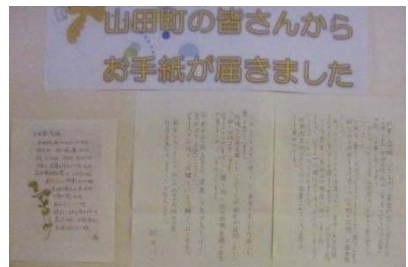
- (1) 全校授業①                      (2) 山田町訪問報告会                      (3) 全校授業②  
 (4) 文化祭発表                      (5) お礼状・暑中見舞い・年賀状等での交流                      (6) 記録集の作成

【対象】

- (1)～(6) 全校生徒 (38名)

【実践の概要・詳細】

- (1) 全校授業①「必死の3か月間」 5月30日(木)  
 □ 佐々木慶信校長が、自身の体験をもとに、震災当日の様子や、避難所の様子、山田町の被害状況等について授業を行う。
- (2) 山田町訪問報告会 8月30日(金)  
 □ 第1回目の山田町訪問の様子や、インタビューさせていただいた内容をまとめ、3年生が1・2年生にプレゼンテーションをする。  
 □
- (3) 全校授業②～山田町訪問のまとめ～ 10月4日(金)  
 □ グループごとに、インタビューさせていただいて印象に残ったことや、伝えたいこと、忘れてはいけないことなどをまとめる。
- (4) 文化祭発表 11月27日(日)  
 □ 山田町訪問の様子や、インタビューさせていただいた内容、自分たちの考えをグループごとにパワーポイントにまとめ、全員がステージに上がり発表する。
- (5) お礼状・暑中見舞い・年賀状等での交流  
 □ 山田町の方々と手紙等で交流を図る。
- (6) 記録集の作成  
 □ 山田町訪問についての個人新聞を作成し、記録集にまとめる。





## 【授業の展開】

- (1) 全校授業①「必死の3か月間」
  - 震災からの3か月間、校長先生が実際に体験したことや山田町の被害の状況についての話を聞いた。
  - 復興に対する様々な人の思いを知ること、改めて震災について思いだし、復興について考えていくきっかけとなった。
- (2) 山田町訪問報告会
  - 7月に山田町を訪問した3年生が、一人ずつパワーポイントを使用して1・2年生にプレゼンテーションを実施し、自分たちが感じた現在の山田町を伝えた。
- (3) 全校授業② ～山田町訪問のまとめ～
  - グループごとに、インタビューの内容を確認し、印象に残ったことや伝えたいこと、忘れてはいけないことなど、テーマに沿ってまとめた。
- (4) 文化祭発表
  - インタビューを通して生徒たちが受け取った「忘れないでほしい」「伝えてほしい」「今を大切にしてほしい」という山田町の方々の願いにそってまとめをし、山田町の現状や山田町の方々の思い、復興についての自分たちの考えを、保護者・地域に向けて発表した。
- (5) お礼状・暑中見舞い・年賀状等での交流記録集の作成
  - 山田町の方々と手紙等での交流を続けた。このことで、継続した活動にしていきたいと考えている。
- (6) 記録集の作成
  - 全校生徒が、山田町訪問について個人新聞（B4サイズ1枚）にまとめた。

## 【生徒の感想】

～全校授業①「必死の3か月間」の感想～

- 山田町での出来事のお話がとてもせつなくて、悲しくなりました。7月に山田に行くので、少しでも力になれるように頑張りたいです。
- 忘れかけていた津波のことを思い出して、改めて津波の恐ろしさを感じました。山田に行った時にも、お話をちゃんと聞いてきたいです

～文化祭発表より～

- 建物を建てるなどの復興には関われないけれど、一人でも多くの人に震災について伝えていきたい。周りの人に発信していくことが、今、自分にできる復興のお手伝いだと思う。

## 【まとめ】

校長による授業や、山田町訪問を通して学んだことをもとに、震災や復興についての考えを深めることができた。

また、保護者や地域の方に向けて、山田町の現状や被災された方々の思い、自分たちの復興に対する考えを発表し、しっかりと伝えることができた。

手紙等で、山田町の方々と交流が続いていることで、山田町訪問で学んだことが色あせずに、生徒たちの記憶の中に残っている。今年度に限らない、継続した活動にしていきたい。



## 【保護者・地域の感想】

山田町での体験学習はとても良い勉強だったと思いました。私たち親も考えさせられたことがたくさんありました。